

岬まき

国政報告01

裏面特集

予算委員会で岸田内閣総理大臣に質問

2月7日、初めての予算委員会。日本維新の会の衆議院議員として初めて質疑を行い、NHK7時、9時ニュースや民放ニュースでも報道いただきました。

「就職氷河期世代支援」についての岸田文雄内閣総理大臣、山際大志郎大臣との質疑応答の行方は!?

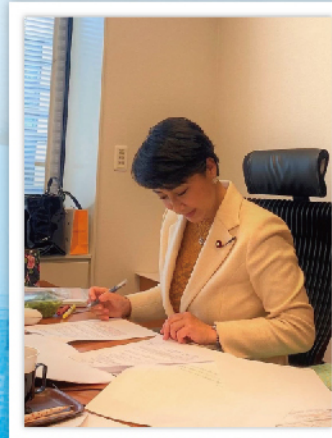


令和3年10月31日施行された、第49回衆議院議員選挙におきまして、わたくし、岬まきは日本維新の会への幅広いご支援と、地元の皆さまから45,540票のご期待を賜り、当选することができました。愛知県で唯一の女性衆議院議員、日本維新の会では東海ブロック初の女性衆議院議員に押し上げていただきました。国政に送り出していただき約五か月が経過し、多忙ながら大変充実した日々を過ごしております。

初登院してから、両院議員総会、代議士会、本会議、委員会、大変お厳かな雰囲気の中、すべてが初めての事で背筋が伸びる思いでした。

予算委員会ではテレビ中継もあり、大変緊張した中、岸田文雄内閣総理大臣、山際大志郎大臣へ質問させていただくという貴重な機会をいただき、多くの方からの反響もございました。1歩1歩着実に前へ進み、皆さまの想いを無駄にすることなく、地元のため、日本のため、しっかりと仕事に取り組んでまいります。

衆議院議員 岬まき



岬まき プロフィール

名古屋生まれ名古屋育ち。愛知県立東郷高等学校、愛知大学第2法学部法律学科(中退)早稲田大学人間科学部人間環境学科eスクール在学中。フリーアナウンサー・企業研修講師。■【所属委員会】衆 文部科学委員 / 衆 国家基本政策委員 ■【所属特別委員会】衆 科学技術イノベーション特別委員

【趣味】城・神社仏閣・温泉・吊り橋巡り・落語 【座右の銘】微差は大差なり 【尊敬する人物】豊臣秀吉

地元事務所

〒481-0041 愛知県北名古屋市九之坪東町42番地1
☎ 0568-65-8777 ☒ 0568-65-8778

東京事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2衆議院第2議員会館705号室
☎ 03-3508-7409 ☒ 03-3508-3889

✉ h19415@shugiin.go.jp

📄 岬まき 検索

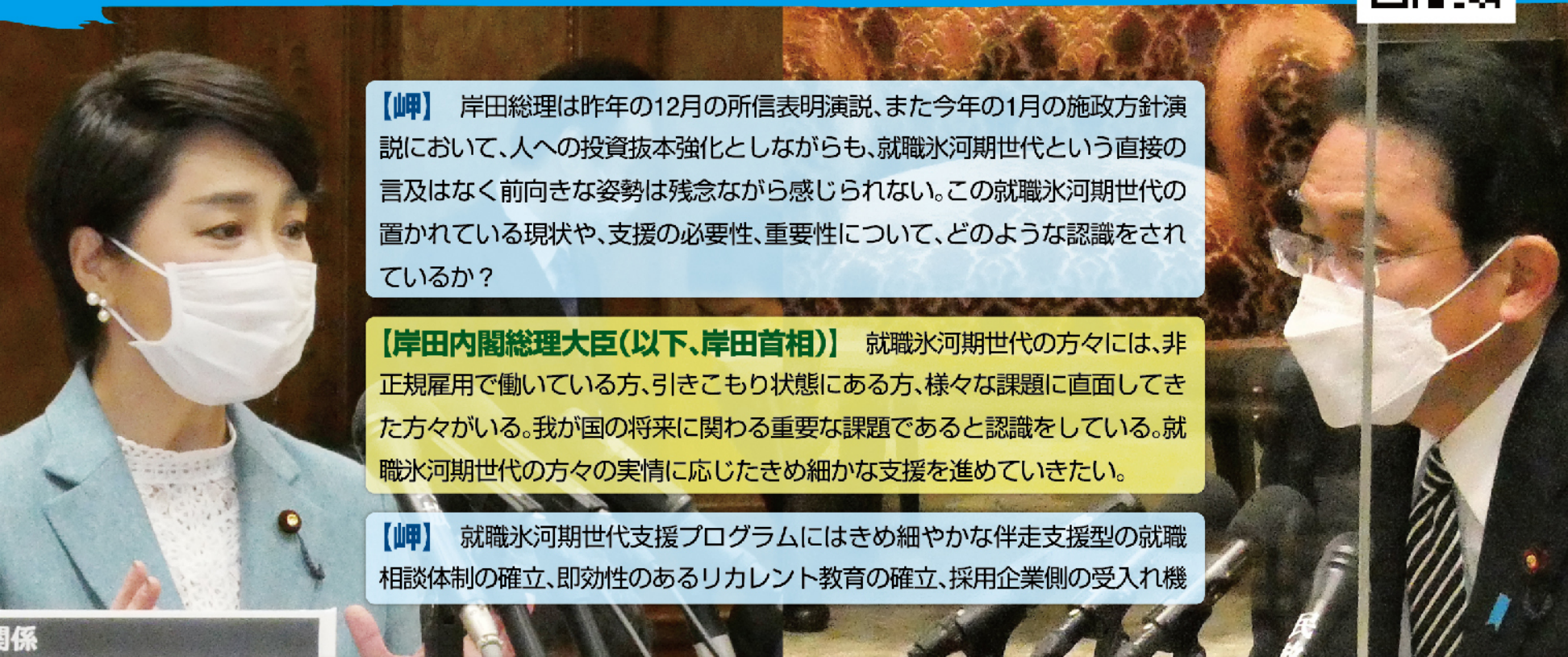


後援会入会受付中! お問い合わせはメールまたは地元事務所までお気軽にお電話ください!

ホームページ

予算委員会で岸田内閣総理大臣に質問

当質疑の全文は2022年2月7日に行われた予算委員会での質疑の要約です。質疑の様子は横QRよりご覧いただけます。



【岬】 岸田総理は昨年12月の所信表明演説、また今年1月の施政方針演説において、人への投資抜本強化としながらも、就職氷河期世代という直接の言及はなく前向きな姿勢は残念ながら感じられない。この就職氷河期世代の置かれている現状や、支援の必要性、重要性について、どのような認識をされているか？

【岸田内閣総理大臣(以下、岸田首相)】 就職氷河期世代の方々には、非正規雇用で働いている方、引きこもり状態にある方、様々な課題に直面してきた方々がいる。我が国の将来に関わる重要な課題であると認識をしている。就職氷河期世代の方々の実情に応じたきめ細かな支援を進めていきたい。

【岬】 就職氷河期世代支援プログラムにはきめ細やかな伴走支援型の就職相談体制の確立、即効性のあるリカレント教育の確立、採用企業側の受入れ機

会の増加につながる環境整備、また、アウトリーチの展開など、具体的なものも盛り込まれている。伴走型は、当事者がしっかり前を向いているからこそ伴走ができる。相談は、相談をしに行かなければ相談に乗るということも難しい。リカレント教育は意欲があり、やる気があり、もっとステップアップしていこうと思えるからこそ実現できる。この施策は、前向きで意欲のある方には有効。自己肯定感が低下し、年齢を重ね、時代に置き去りになった、社会から置き去りになってしまったと感じている方々に実際響くのか。その苦しみ、出口の見えない不安な日々を送っている方、まだまだ多くいらっしゃる。この問題の難しさは、人生を諦めるには早過ぎるが、新たなことを始めたり、何十年というブランクがある中では、その一歩を踏み出すのは大変勇気が要る。今更、もう自分なんて、そして面倒だ、社会が怖い、そんな恐怖に不安をいっぱい抱えている方がいらっしゃる。就職氷河期世代支援プログラムは、就職氷河期世代の正規雇用者三十万人の増加の目標を掲げている。2020年、そして2021年、どれだけの正規雇用者が増えたのか、現在までの実績は？

【山際国務大臣(以下、山際大臣)】 2020年の正規雇用者に関しては、前年から横ばい。理由としては、新型コロナウイルス感染症が拡大し、その影響が非常に大きかった。2021年の正規雇用者数については、施策の実績と併せまして今春を目途にフォローアップを行う予定。

【岬】 すばりお聞きする。効果はあったがコロナの影響で横ばい、そこからうまく伸ばすことができていなかったということなのか、若しくは、この支援政策自体がちょっと甘かったのか、問題があるのか、方向性が違っていただけなのか、どちらなのかこれからどうしていくのか、そして続けていくのか。

【山際大臣】 極端に申し上げれば両方。支援策は、一定の成果はあった。岸田内閣で、3年で4千億の人材投資パッケージというものを用意している。伴走型のサービスをこれから提供していきたい。

【岬】 この取組で、いつでも、誰でもが本当に再挑戦をしていけるのか、個々の人が適材適所にいかについていくか、そこがポイント。総理の見解を伺いたい。改革、流動化の見解は？

【岸田首相】 労働市場の在り方、そして、特に労働移動を促進していくという考え方、これは重要な考え方。人への投資を重視する観点から、職業訓練と再就職支援を組み合わせ、労働移動やステップアップ、これを強力に支援するために、求職者支援制度やトライアル雇用助成金等の拡充、民間派遣会社を通じたITスキル等の研修、紹介予定派遣等を行うほか、人材開発支援助成金、キャリアアップ助成金において、企業等の民間ニーズを把握しながらデジタル人材の強化を行う。あわせて、デジタル、グリーンなど成長分野を支える人材の確保、育成や、学び直しを支援するために大学等のリカレント教育、そして職業訓練の拡充などの取組を通じて、これからの日本の経済を支える成長分野、に労働移動を促していく、こうした流れをつくっていきたく考えている。

【岬】 政府が、3年間の集中的な支援に取り組むとした令和4年は最終年度になる。直接、総理の口からこのままの目標で達成できるのか、その意気込みも併せてお聞かせいただきたい。

【岸田首相】 ハローワークを通じて9万人を超える方々が正社員として就職。就職氷河期世代向けの国家公務員試験を通じて200人近くが採用。結果としては、正規雇用者数は伸び悩んでいる、916万人程度で横ばい状況にあるという状況。プログラムの期間はあと1年残っている。目標に向けて、施策の実行に全力を挙げて、1人でも多くの方々が希望する正規雇用の場を得られるよう、しっかり取り組んでいきたい。

【岬】 人口減少の中、人は宝。本当に弱っている、本当に不安だと思っていられる方にきちんと寄り添える、しっかりと手が届く、言葉だけではない本当の政策をお願いしたい。政府の取組をこれからもしっかりと注視して私どもも歩んでまいりたい。